



ばいりん



令和6年6月号

横浜市立梅林小学校

TEL 045-773-0341

FAX 045-772-4862

梅とたてわり

校長 芦垣 幸代

本校の教職員の組織分担のなかに「梅とたてわり」というものがあります。本校の特色である「梅」に関わる活動、そして1年生から6年生までで構成されるたてわり活動などを通して豊かな心の育成を推進していきます。



校庭の梅の実が大きくなっていく中、たてわり活動も始まりました。たてわり活動のリーダーは6年生ですが、学級や学年で同学年の仲間と活動するのは違い、たてわりグループでは皆がリーダーとしての役割を担います。顔合わせの会は少し緊張していたようですが、たてわり全校遠足にむけ、6年生は協力しながらグループみんなのことを考えて準備をしていました。

今年度のたてわり全校遠足は、ウォークラリーを中心に、グループで地図をもとにポイントを回りました。それぞれのポイントで、協力してミッションをこなします。出発式では、「グループで協力して、もっと楽しい梅林小にしよう」というめあてのために、「考えよう」「伝え合おう」「自分から楽しもう」という話をしました。広い公園内で、どのグループも声を掛け合って、活動していました。特に、6年生を中心に高学年がすばらしかったです。自分で考えて下学年に声をかけている姿、次にどうするか高学年で相談し、しっかりと伝えている姿、下学年の子が困っているときに、親身になって話を聞いている姿などが随所に見られました。下学年の子どもたちも、高学年を頼りつつ自分からどんどん思いを伝え、楽しんでいました。当日は梅っ子応援隊のボランティアの方々が道路の横断等の見守りをしてくださいました。ありがとうございました。

5、6年生の振り返りから

- ・自分たちが準備してきたことを下級生が楽しんでくれてうれしかった
- ・1年生が疲れていないか、水を飲めているか、気にかけて行動できた
- ・6年生が引っ張ってくれてとても楽しい遠足ができた。解散式では大きな声ではっきりと言えた
- ・来年、自分たちが考えるときに、今日バディと楽しくおしゃべりできたように、たてわりのみんなが楽しんで、やりたいことができる活動にしたい



友達や異学年と関わることは楽しいことばかりではないかもしれませんが。思いが違うので、ぶつかること、嫌な思いもすることもあるでしょう。でも、一つひとつ思いを伝え合い、相手の気持ちを知りながら、関わり合っていくことに、大切な学びがあると思います。

校庭の梅の木も収穫の時期を迎えています。バディ学年（1・6年、2・4年、3・5年）で収穫し、下ごしらえをして砂糖漬けにしました。できた梅シロップで梅ジュースを飲むのが楽しみです。

